

第37回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会 優勝

主将 花浦ひかり

私たち須磨ノ浦高校ソフトボール部は、3月16日から佐賀県で行われた全国選抜大会に出場し、優勝という結果を残すことができました。

初戦からなかなか点数を取ることができず、その後も3回戦、4回戦、準決勝と一点差の厳しい試合でしたが、何とか競り勝ち優勝することができました。この大会を通して、技術面、精神面共にたくさんの課題が残りました。その課題をチーム全員でしっかりと見つけ直し、更にレベルアップをし、もう一度、全国で戦えるチーム作りをしていきます。

この度優勝することができたのは、様々な形でたくさんの方に支えて頂き、応援して頂いたからです。本当に感謝しています。たくさんの方の応援ありがとうございました。

監督 池田紀子

いつも支援して頂きありがとうございます。

今大会を終えてまず思うことは、正直、優勝できるとは思っていませんでした。夏のインターハイを優勝という結果で終えた後の新チームは、全てが1からのチームでした。何とか全国で戦える力をつけようと四苦八苦していましたが、まだまだ発展途上のチームということは、私を含めた選手たちが感じていました。

今のチームの力と初戦のゲーム展開を考えると、よく最終日に残ることができたと思います。準決勝、決勝では、ここまできたら負けられないという思いだけで戦いました。勝てて良かったと感じると同時に、チームの課題が浮き彫りになったということも感じる大会でした。

しかし、全国大会で最後まで試合ができたことは、選手たちには本当に良い経験になりました。この経験を今後生かしていけるようより一層、努めていきたいと思います。応援して下さい多くの皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。